

第3回 国際バルク戦略港湾検討委員会  
議事概要

日時：平成22年2月18日（木）17：00～19：30

場所：中央合同庁舎3号館 8階国際会議室

○前回の委員会で、穀物のユーザーから、輸入の実態や港湾行政への期待、要望等についてご意見を伺ったのに引き続き、鉄鉱石関係として「(社)日本鉄鋼連盟」から、石炭関係として「電気事業連合会」及び「日本コールセンター技術交流会」から、それぞれご意見を伺った。出席者からは、主に、以下のようなご意見があった。

- ・(鉄鉱石について、)我が国産業が国際競争を勝ち抜くため、30万トン級船舶の満載での入港が可能な受入港湾の整備が必要。
- ・(両品目とも、)現在利用している船舶の満載入港のための航路浚渫が必要であるとともに、夜間入港等の規制緩和が必要。

○各委員からは、以下のようなご意見があった。

- ・新たに大型化する船舶への対応のみならず、現状でも入港に支障のある船舶への対応についても、「選択と集中」を図りつつ進めるべきではないか。
- ・港湾管理者は、国際バルク戦略港湾に応募するにあたって、ユーザーの意見を十分に酌み取ることが必要ではないか。

○次回（第4回）は、平成22年3月25日（木）の17時から開催予定。次回は、これまでに実施したユーザーからのヒアリングを受けて、国際バルク戦略港湾の選定に向け、基本方針や選定基準等の議論に入っていくこととなった。

以上